梅賀山保育園　0歳児　年間指導計画(2024, 4～2025, 3)

年間目標	● 愛情豊かな触れ合いの中で、衛生的で安全な環境を作り、快適に生活出来る様にする　● 一人一人の個人差に留意しながら、離乳の完了、歩行の開始を促す ● 保育者の受容的・応答的な関わりの中で発語への信頼関係を築き、意欲を育む　● 1歳を迎える頃に、穏やかに3つの視点から5領域の視点へと接続していく

期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)
ねらい（養護）	● 保護者と連携し、一人一人の生活リズムを把握し、無理なく新しい環境に慣れるようにする ● 保育者などの見守りの中、安心感を持ちながら落ち着いて遊びを楽しむ	● 梅雨期や夏期の室内環境、健康状態に十分注意し、快適に過ごすことが出来るようにする ● 外界に対する興味を育てるよう、見る、聞く、触れるなどの刺激を十分に経験する	● 個人差に留意しながら、一人一人の発達に合った全身運動が十分に出来るようにする ● 保育者と一緒に音の出る玩具を振ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする	● 一人一人の園児の生理的欲求が満たされるようにし、1歳児クラスの生活リズムへと移行出来るようにする ● 喃語や指さし、言葉で欲求を伝えようとし、保育者や他児との関わりに喜びを感じる

年齢 月齢	2か月～3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～9か月未満	9か月～12か月未満	1歳～1歳3か月未満	1歳3か月～2歳未満
園児の姿	●授乳の間隔が安定してくる ●睡眠と目覚めを何度もくり返す ●あやすと、声を出したり微笑む ●人の声や音が出る物、動く物に反応を示す	●睡眠のリズムが安定してくる ●首がすわり、寝返りがだんだんと出来るようになる ●あやすと、人の顔を見つめ、笑ったり喃語を発したりする	●離乳食を食べ始める ●一回の睡眠時間が長くなる ●おすわりやずりばいをし、近くにある玩具に手を伸ばしたり握ったりする	●手づかみで意欲的に食べる ●四つばいや高ばいなどで移動したり、つかまり立ち、つたい歩きをする ●指さしや喃語で思いを伝えようとする	●離乳がほぼ完了する ●一人で立ち、歩行が始まる ●手や指先を使って遊ぶ ●「マンマ」「ブーブー」など、一語文を話すようになる	●歩行が安定する ●指先を使った遊びをする ●自分の意思を動作や言葉で伝える ●他児へ関心を示すとともに、持っている物を欲しがり、触ろうとする
■養護（生命の保持・情緒の安定）	■生理的欲求を満たし、気持ちよく生活出来るようにする ■スキンシップを多く取りながら、安心して過ごせるようにする	■一人一人の生活リズムを把握し、安定を図る ■泣き声や喃語にくり返し応答しながら、愛着関係を築いていく	■一人一人の発達に応じて離乳食を進め、食べることへの意欲を育てる ■喃語や身振りなどにくり返し応答していく	■一人一人に合わせて、スプーンや手づかみで食べることを経験出来るようにする ■園児との信頼関係を深め、安心して気持ちを表せるようにする	■おしぼりで口や手を拭いてもらいながら、気持ちよさを感じる ■応答的な関わりにより安心して言葉で伝えようとする	■歩行により行動範囲が広がるため、安全に遊べるようにする ■自分でしたいという気持ちを大切にし、意欲的に生活出来るようにする
三つの視点★教育（5領域）	★安心出来る保育者などとの関わりから心地よさを感じる ★動く物や音の出る物に反応する	★保育者などとのスキンシップに喜びを示す ★音の出る玩具や感触のよい玩具に興味を持ち、手を伸ばそうとする	★おすわりやずりばいなど、体を動かして遊ぶことを喜ぶ ★身近な人への親しみを感じつつ、他の大人へ関心を示す	★高ばいやつたい歩きなど、体を動かしながら好奇心を持って遊ぶ ★指さしや喃語で、興味を示した物を知らせようとする	★探索活動をしながら周りへの関心が高まる ★絵本の読み聞かせなどを通して、言葉のやりとりを楽しむ	★周りの人への興味や関心が高まり、まねをする ★体を動かすことを喜び、玩具に手を伸ばしたりと自ら関わろうとする
■環境・構成☆援助・配慮	■動く玩具や音の出る玩具を用意する ☆授乳の際は目を見て優しく話しかけ安心して飲めるようにする ☆おむつが汚れたら優しく言葉をかけ、こまめに取り替える ☆落ち着いて睡眠がとれるようにし、睡眠中の観察を行う	■玩具は口に入れても安全な物を用意し、毎日清潔に保つ ■目で追ったり手で持ったり出来る玩具を用意する ■目で見て優しく言葉かけをしたり、スキンシップを取ったりしながら安心して過ごせるようにする	■おすわりやずりばいなど行動範囲の広がりに合わせ、安全に遊べる環境を整える ☆授乳や離乳食は一人一人の発達や生活リズムに合わせて行う ☆甘えや不安などを受け止め、安心して過ごせるようにする	■興味や発達に合わせ、十分に運動出来る環境を整える ☆園児一人一人の表情の表し方を理解し、共感し、受け入れながら安心して過ごせるようにする ☆指さしや喃語に応じ、優しく言葉がけをする	■立ったり歩いたりしながら探索活動が十分に楽しめるように環境を整える ■玩具や環境を整え、一人遊びが十分に楽しめるようにする ☆園児の喃語や身振りに対して応答的に関わり、心地良さを感じられるようにする	■他児への関心が少しずつ持てるように仲立ちし、環境を整える ☆自分で出来た喜びが十分感じられるような援助や言葉かけをしていく ☆絵本の読み聞かせをしたり、園児の気持ちを言葉にしたりして、言葉の獲得を促す
子育ての支援（保護者の支援）	●園や家庭での様子を伝え合い、保護者との信頼関係を築きながら、ともに安心して子育てを行えるようにする	●健康状態や日々の園児の様子などを連絡ノートや会話の中で伝え合い、ともに成長を喜べるようにする	●離乳食は保護者に記入してもらい、家庭と保護者、給食担当者などとの連携を密にして無理なく進めていく ●口腔衛生の方法を知らせる	●園児の様子を伝え合い、生活リズムの安定を図る　●園児の発達を伝え合い、家庭でも楽しめる触れ合い遊びを紹介する	●探索活動が盛んになるため、安全な環境についての園での対策を知らせる●窒息や誤飲の配慮事項について、共通理解を図る	●園児の自分でしたい気持ちを受け止め、援助をしたり言葉かけをしたりすることで意欲へとつながることを知らせていく

梅賀山保育園　1歳児　年間指導計画(2024, 4～2025, 3)

年間目標	● 安心出来る環境の中で、一人ひとりの欲求を満たし、それぞれの成長を育む　● 体、指先などを使う遊びを充分に体験させ、保育者や友達との関わりを楽しむ ● 保育者や他児と関わりながら、生活や遊びの中で、言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる

期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)
園児の姿	●担任の保育者などの顔を覚え、親しみを持つ ●少しずつ保育者などや環境に慣れ、安心感を 持って生活し、自分の好きな遊びを楽しむ	●園の生活リズムが徐々に身に付き、1日の保育の流れに沿って生活をすることが出来る ●歩行が安定し行動範囲が広がり、身の回りのことに 興味を持つ	●保育者や友達に親しみ、関わりながら遊んでいる ●戸外散歩に出かけ、落ち葉や山野草に触れて　遊ぶ	●身の回りのことを自分でしようとする ●友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じ、簡単な言葉のやり 取りをしながら過ごす ●雪や氷に興味を持ち、触れて楽しむ
ねらい	●新しい環境や生活リズムに慣れ、特定の保育者 などとの信頼関係を築き、安心感を持ちながら自分の 好きな遊びを楽しむ ● 戸外に出かけ、自ら体を動かす心地よさを感じる	●簡単な言葉をくり返したり、模倣したりして楽しむ ●園での生活を楽しみながら、身近な人と関わる 心地よさを感じる	●身の回りのことに興味を持ち、自分でやってみようとする ●園内外に出かけ、秋の自然に触れて親しむ ●保育者などや友達と一緒に、季節の音楽やリズムに親しみ、体を動かして楽しむ	●進級に向けて期待や喜びを持って、楽しく過ごす ●冬の季節を感じながら、雪に触れたり、冬なら ではの遊びをして楽しむ
■養護(生命の保持・情緒の安定)	■一人一人の状況に応じて関わり、生理的欲求が 満たされるようにする ■園児の気持ちを受け止めながら触れ合い、安心感を持って過ごせるようにする	■夏ではならの遊びを安全な環境で、十分に味わうことが出来るようにする ■保育者などとのスキンシップが十分行われることで 安心して過ごせるようにする	■自分でしたい気持ちを受け止め、援助されながら 達成感を味わえるようにする ■室内の環境や衣服の調整を通して、快適に過ごす ■適切な休息や午睡が取れるようにする	■ゆったりと見守られながら、身の回りのことを 自らしようとする ■友達への関心が高まるように、安心してやり取りを 楽しめるように手助けする
★教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)	★保育者などと一緒に体を動かす遊びを楽しむ ★保育者などに援助されながら、食事、排泄、睡眠を しようとする ★保育者などに見守られながら、自分の好きな遊びを 楽しむ。身近な自然と触れ合い、興味・関心を持つ ★自分の気持ちを言葉で伝えようとする ★見たり、指さしをして意欲的に絵本に親しむ ★歌を歌ったり、手遊びをしたりして楽しむ	★トイレでの排泄に慣れる ★異年齢の園児との交流を喜ぶ ★水砂泥に触れ、夏ならではの開放的な遊びを楽しむ ★絵本や手遊びを繰り返し楽しむ中で、様々な言葉を 獲得する ★絵の具の感触を知り、興味を持つ ★音楽に合わせて体を動かしたり、簡単な楽器遊びを 保育者や友達と一緒に楽しむ	★「危ない」などの制止の意味を知り安全に遊ぶ ★身の回りのことを自分でやってみようとする ★友達の存在を意識して一緒に遊びを楽しんだり、 自分から関わりを求めようとする ★散歩や戸外遊びを通して、秋の自然に触れて興味や関心を持つ ★保育者や友達と簡単な言葉のやり取りを楽しむ ★リズムに合わせて体を動かしたり、歌を楽しむ	★全身を使った運動遊びをする ★好きな遊びをじっくり楽しみ、友達と一緒に遊ぶことを喜ぶ ★身近な人と関わる心地よさを感じながら、遊びを楽しむ ★簡単な身の回りのことができた喜びを感じる ★二語文や多語文が増え、保育者などや友達と一緒に 会話を楽しむ ★遊びの中で言葉を使うことを楽しむ ★冬の季節の歌に親しみ、身振りや手振りを交えて楽しむ
■環境構成　☆援助	■保育室や園庭の安全に留意し、安心して遊べるようにする ■園児が興味を持てるよう、発達に合った玩具を用意 する ☆個々の生活リズムを把握し、無理なく新しい環境に 慣れていけるようにする ☆保育者などとの応答的な関わりを通して、信頼関係を築いていく	■水遊びを十分楽しめるように、水温の確認や安全な 環境を整える ■活動を通して、友達と関わり、一緒に楽しめるように様々な玩具を用意する ☆活動の合間に水分補給や休息を取りながら、快適に 過ごせるようにする ☆友達との関わりの中で、保育者などが仲立ちとなり、関わりがスムーズに出来るように言葉がけをする	■身の回りのことや玩具に興味が持てるよう、室内環境を整える ■秋の自然物を使った製作が楽しめるよう、様々な 素材を準備をする ☆園児のやりたい気持ちを受け止め、自分でしようとする姿を側で見守りながら、達成感を持てるような 言葉かけをする ☆活動に参加しようとしない園児たちの気持ちにも 寄り添い、別の機会を設けるなどの配慮をする	■友達と見立てて遊びなどが出来るよう、コーナーを 設置したり、十分な玩具を用意する ■感染症予防のため、気温や湿度をこまめに調整しながら快適な環境を整えるようにする ☆園児の思いを受け止め、伝えたいことを代弁しながら友達との関わりを深めるよう仲立ちをする ☆自分で出来たときには十分にほめることで、園児の 自信や意欲につなげられるようにする
子育ての支援(保護者支援)	●連絡帳や送迎時の会話で毎日の様子を伝え、不安や 疑問が和らぐように心がける ●かみつきや引っかき、けがなどには適切に対処し、 必ず口頭で説明し共通理解を図る	●衣服の着脱、食事の仕方、排泄など、園と家庭が共通意識を持って進められるようにしていく ●暑くなる時期なので、水分補給、休息、睡眠などの 健康管理について知らせていく	●行事などを通じて、園での園児の様子を見てもらい、成長の過程を共感し、楽しく子育てが出来る　ように援助していく	●子どもの成長を保護者とともに喜び合い、進級に向けて不安がないよう、一年間の様子と進級へ向けて 丁寧に伝えていく

梅賀山保育園　2歳児　年間指導計画(2024, 4～2025, 3)

年間目標	● 保育者や友達との安心できる関係に気づき、好きな遊びを見つけて楽しむ ● 様々な運動遊びを行う中で運動機能や指先の機能が発達する ● 友だちとのトラブルになっても自分の思いを言葉で表現し、相手の思いも知ろうとする

期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)
園児の姿	● 新しい生活にとまどいながらも、一日の流れを意識する ● 保育者と一緒に好きな遊びを見つけ、楽しむ	● 生活の過ごし方や流れが分かり、安心して過ごし、意欲的に身の回りのことに取り組む ● 友達との関わりが多くなり、トラブルも増える	● 衣服の着脱や排泄に興味を持ち、意欲的に取り組む ● 身体機能が発達し、体を使った遊びを好んで行う	● 友達との関わりが広がり、生活や遊びのルールを守って遊びを楽しむ ● 基本的生活習慣が身に付き、当番活動も積極的に行う
ねらい	● 進級した喜びを感じ、安定した生活を送る ● 身の回りの自分の持ち物の管理を意欲的にする	● 水の冷たさや夏の暑さを感じ、夏の遊びを楽しむ ● 友達との関わりを楽しみ、一緒に遊ぶ楽しさを知る	● 運動会や発表会への意欲や期待を育て、表現することを楽しむ ● 秋の自然にふれ、興味関心を持ち、製作など表現活動を楽しむ	● 基本的生活習慣が身に付き、進級への期待を持って生活する ● 冬の自然に親しみ、ごっこ遊びや集団遊びを楽しむ
■養護(生命の保持・情緒の安定)	■ 保育者に援助してもらいながら、簡単な身の回りのことを意欲的にする ■ 不安や要求を保育者に受け止めてもらい、安心して生活する	■ 水分補給や休息に配慮しながら、夏の遊びを十分に楽しみ、体力を付ける ■ 保育者が仲立ちをしながら、友達と遊ぶ楽しさを感じられるようにする	■ 一人一人の成長に合わせ、援助をしながら基本的生活習慣の習得に意欲を持たせていく ■ 集団生活に必要なきまりを覚え、順番を待ったり、玩具の貸し借りが出来るようにする	■ 一人一人の成長に合わせ、達成感を感じられるように前向きな言葉をかけ、自信を持たせていく ■ 生活リズムを大切にし、寒さに負けない体力を付ける
★教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)	★登園時間を守り、生活リズムを整え、安定した生活を送れるようにする ★友達や保育者と安定した関わりを持ち、言葉を増やす ★新しい自分のBOXを覚え、持ち物の管理の仕方を知る ★友達や保育者の名前を覚え、生活に必要な言葉も遊びを通して習得する ★草花や虫など、春の自然を見たり触れたりする	★暑さに負けないよう水分補給や休息を十分に取り、体調の変化に注意していく ★友達との関わりの中で、相手の気持ちに気づかせていく ★水遊びや色水遊びなど夏ならではの遊びを楽しむ ★絵本を見たりする中でやり取りを楽しみ、言葉を増やしていく ★好きな曲やリズムに合わせて踊る	★戸外から戻ったら、うがい、手洗いを習慣にし、体調管理をしっかり行う ★行事を通して、友達と一緒に活動する楽しさを知り、達成感を味わっていく ★秋の自然を見たり、触れたりして五感で感じる ★発表会の劇の練習を通して、たくさんの言葉に触れ、会話も楽しむ	★戸外に出て、元気に遊び友達と一緒に楽しむ ★鼻水が出たら、自分で拭くことを伝える ★友達との関わりが深まる反面、喧嘩も多くなるので、友達の話に耳を傾け、気持ちを言葉で伝えることを促し、思いやり気持ちを育んでいく ★見たり、聞いたりしたことを自分で言葉に出来るように働きかけて会話する楽しさを知る
■環境構成　☆援助	■各自の持ち物を管理しやすいように設定し、意欲を持って行えるようにする ■玩具は一人一人が満足して遊べる数を用意する ☆一人一人と向き合い、気持ちを受け止め安定した生活を送れるようにする ☆園庭遊びでは、遊具に保育者が付き、安全な遊び方を指導する	■戸外活動は、涼しい時間に実施する ■テントやすだれを準備し、熱中症対策をする ☆適切な室温、湿度を保ち、水分補給や休息を十分摂る ☆汗をかいたら着替えをし、体調管理に配慮する	■秋から冬への季節の変化を、自然観察の中で気付かせていく ■様々な安全な素材の自然物を用意し、作る楽しさを感じられるように設定する ☆日常的に起こりうる園児同士のトラブルを捉え、物事の善悪や思いやりの気持ちを丁寧に伝えていく ☆気温の変化から体調を崩しやすい時期なので、衣服の調節を行い、健康的に過ごせるようにする	■伝承行事に合わせたディスプレイをし、関心を高めて雰囲気も楽しめるようにする ■室温や湿度、喚起に気を配り、感染症予防に努める ☆活動の静と動のバランスに留意し、満足して遊べるようにする ☆一人一人の生活面や発達面の様子を再確認し、進級しても戸惑わないように、次の担任に申し送りをする
保護者支援(地域・子育て支援)	● 園での様子を伝えていき、安心感を持ってもらうとともに信頼関係を深めていく	● 日々の園児達の様子を伝え合い、夏の時期の体調管理や病気の状態・対処法についても知らせていく	● 着脱しやすい衣服や使いやすい持ち物を持ってきてもらい、意欲を持って身の回りのことを自分で出来るようにしていく	● 発達や成長の様子を伝え、喜び合いながら不安なく進級出来るように連携していく

梅賀山保育園　3歳児　年間指導計画(2024,4～2025,3)

年間目標	● 以上児クラスになった不安をしっかりと受け止め、保育者との信頼関係の中で健康で安定した生活が出来るようにする ● 歌や音楽リズムに合わせて体を動かし、楽しみながら表現力や豊かな感性を養っていく ● 生活や遊びの中で様々な経験を通して、友達との関わりを楽しみ、工夫・協力しながら関わりを深める

期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)
園児の姿	● 新しい環境に緊張したり不安を感じ、落着かない園児がいるが、徐々に慣れ、好きな遊びが出来るようになる ● 園生活の流れが分かり、自分の身の回りのことを少しずつやってみようとする	● 園生活が楽しくなり、友達との関わりが増える半面、ぶつかり合いやトラブルも多く見られる ● 園の遊具や玩具に興味を示し、自分の好きな活動を伸び伸びと楽しむ	● 集団で一つのことを行う楽しさを知り、保育者の言葉により一緒に行動が取れるようになる ● 人前で自分のイメージを言葉や動作で表現出来るようになる	● 自分の思いを言葉で表現したり伝えたりすることがスムーズになり、見通しを持って行動出来るようになる ● 手先の器用さが増し、形を書いたりはさみで形を切ったりする
ねらい	●喜んで登園し、保育者に親しみや信頼関係を持つ ●身近な環境に興味・関心を持ち、自ら関わりを広げていく ●生活に必要な言葉がある程度分かり、したいこと、してほしくないことを言葉で表す	●生活の仕方が分かり、簡単な身の回りのことを自分でしようとする ●遊びや生活にきまりがあることを知り、守ろうとする ●身近な動植物や自然現象に親しみ、触れることを楽しむ	●遊びの中で体を動かす楽しさを味わう ●絵本・童話などを見たり聞いたりして内容を楽しむ ●感じたことや思ったことをかいたり、歌ったり、体を動かしたりするなどして自由に表現しようとする	●様々な物を見たり触れたりし、おもしろさや美しさに気付く ●行事に喜んで参加し、楽しさを味わい、意欲的に取り組む ●大きくなった事を喜び、進級に期待を持つ
■養護(生命の保持・情緒の安定)	■ 進級した気持ちに寄り添い、安心して園生活が送れるようする ■ 園生活の流れを知り、新しい環境や生活のリズムに慣れる	■ 水遊びにおけるリスクを確認し、安全管理を徹底して行う ■ 気温や湿度、活動内容などを見ながら水分補給や休息を適切に取り、健康に過ごせるようにする	■ 一人一人のがんばりや成長を見逃さず、認めていくようにする ■ 外遊びでの運動量が増えてくるので、休息を十分取ったり、体調や怪我に留意したりする	■ 暖房器具を適切に使い、快適で健康的な環境を保つようにするとともに、取り扱いには注意する ■ 一年間の成長やがんばりを認め、進級に対して期待や自信を持てるようにする
★教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)	★保育者の言葉かけにより、自分で手洗い、うがい、鼻をかむなどして清潔を保つ ★自分のお道具箱を使い、制作遊びを楽しむ ★お当番活動の喜びを感じる ★気の合う友達と好きな遊びを楽しむ ★絵本や紙芝居を見ることを楽しむ ★身近な動植物や自然現象を見たり触れたりする	★体調の変化を保育者に伝えようとする ★食事、排泄、着脱などを自分でしようとする ★走る、跳ぶ、転がるなど、体を動かすことを楽しむ ★異年齢のクラスと一緒に過ごしたり、遊ぶことを楽しむ ★物や場の取り合いなどで友達とのトラブルを経験し、他人の存在や欲求に気付く ★自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、保育者や友達と言葉のやり取りを楽しむ	★外で十分体を動かしたり、様々な遊具を使って運動遊びを楽しむ ★気の合う友達と遊ぶ中で、自分の気持ちを自由に表現したり、アイディアを出したりする ★行事で異年齢児と触れ合い、楽しさを共に感じる ★木の葉や草花などを使って遊び、自然に関心を持つ ★生活の中で色や数、量、形などに興味を持ち、違いに気付く ★絵本や紙芝居など簡単なストーリーが分かり、イメージをもって楽しんで聞く	★危ない場所に近づくことが少なくなり、危険な遊びに気付いたり、約束を守って遊ぶ ★生活の流れの見通しが持てるようになり、自分から進んで身の回りの始末をする ★友達の気持ちが分かり、友達が泣いていたら保育者に伝えたり、助けようとしたりする ★様々な用具や素材に触れ、それを使って遊びを楽しむ ★年長児や年中児のまねをしたり、一緒に遊ぶことを楽しむ
■環境構成　☆援助	■絵本や童話、紙芝居の面白さを伝える ☆園児一人一人に話しかけたり、手をつないだり、個々とスキンシップを十分に取る ☆安定した生活が送れるように、家庭との連絡を密にしていく ☆自分から遊びに入れない園児には、保育者が誘って一緒に遊ぶ	■気温にあわせて水遊びやプールの準備をし、水遊びの玩具などを用意する ☆着替えや清潔の習慣など自分でしようとする気持ちを大切にしながら、一人一人に合わせた適切な援助をする ☆園児の話をよく聞き、共感を持って受け止める ☆友達との遊びに関心を持つよう、誘いかけたり仲立ちをしたりする	■イメージが豊かに広がるよう、遊び環境を工夫し、園児たちの発想や表現を大切にしていく ☆友達と遊ぶ喜びに共感しながら、互いの思いを伝え合っていけるようにする ☆出来るまで見守ったり、頑張りを認めていく。出来ない場合は援助し、出来たという満足感を味わえるようにする	■安定した生活が出来るよう、家庭と連携を取る ■暖房、換気、加湿、寒さへの対応など安全で健康な環境を保つように留意する ■年中組、年長組へのあこがれを抱き進級への期待を持てるようにする ☆一人一人の成長を把握し、ゆったりと関わりながら成長を喜ぶ
保護者支援(地域・子育て支援)	● 連絡帳だけでなく、登降園時にも保護者に園児の一日の様子を伝え、信頼関係を築いていく	● 熱中症、感染症についての掲示をし、健康な夏の生活の仕方について知らせる	● 運動会やお遊戯会では、子どもの成長を保護者とともに喜び合い、その子なりのがんばりを認めてもらうようにする	● 流行性疾患の情報を発信し、園や家庭での対応について確認し、予防を行う

梅賀山保育園　4歳児　年間指導計画(2024, 4～2025, 3)

年間目標	● 友達や保育者とルールのある遊びを楽しみ、同じ目的に向かい協力し合う楽しさを知り、自信につなげる ● 遊びや活動を通して、数の大小や文字に興味を持つ ● 全身を使ったり、自然や社会に関わりながら、遊びの経験を豊かに発展させながら楽しむ

期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)
園児の姿	● 進級したことを喜び、意欲的に過ごすが、時々不安や緊張も見られる ● 声かけにより、身の回りのことを自分でしようとする	● 園生活の流れが分かり、落着いて生活することが出来る ● プールや泥遊びなどを意欲的に行う	● 友達と協力したり、一つの物を作り上げていく楽しさを経験し、仲間意識を持つ	● 生活に必要な習慣が身に付き、自信を持って生活出来るようになる ● 冬ならではの遊びをルールを守りながら楽しむ
ねらい	●新しい環境に慣れ、意欲的に活動に取り組む中で、好きな遊びを保育者や友達と楽しむ	●友達と関わりながら、夏ならではの遊びに興味を持ち、意欲的に楽しむ	●友達との関わりを深め、思ったことや感じたこと、イメージなど表現して遊ぶことを味わう	●様々な活動を通して、基本的な生活習慣や態度を身に付け、進級することへの喜びを感じる
■養護(生命の保持・情緒の安定)	■ 基本的生活習慣を身に付け、自ら気付き考えながら行動出来るよう関わっていく ■ 生活や遊びの中で、安心して伸び伸びと保育者と関わっていけるようにする	■ 園児一人一人の健康状態や発達を把握し、適切な対応をしていく ■ 園児同士の遊びを豊かにし、友達と関わりながら自分の思いを伝えられるようにする	■ 一人一人の体調の変化に留意して、被服の調節など必要な習慣を身に付け、快適に過ごせるようにする ■ 園児同士のよさを認め合えるよう、集団での一人一人のよさを生かしていく	■ 冬の健康に必要な生活習慣を知らせていく ■ 他者から自分の存在を認めてもらうことの喜びを感じ、自己肯定感を育てていけるようにする
★教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)	★生活のリズムや流れが分かり、自分から行動しようとする ★遊具や用具などの安全な使い方を知り、体を動かして遊ぶ ★友達といることの喜びや楽しさを感じながら一緒に遊ぶ ★自然など身近な環境への関わり方や遊び方を体験していく ★生活や遊びの中で必要なことを言葉で伝え、友達の話を聞こうとする	★活動と休息のバランスに心地よさを感じる ★プール遊びを通して、健康的な体作りをしていく ★自分の思いを主張し、ぶつかり合いながら友達の思いに気付く ★夏の生活の仕方を知り、身の回りのことを自分でしようとする ★経験したことや、興味のあることについて保育者や友達に話したり、聞いてもらったりすることに喜びを感じる	★簡単な決まりやルールを守り、園児同士で教えあいながら楽しく遊ぶ ★気候や活動に応じた生活習慣を身に付ける ★自分を十分に発揮したり、友達と強調して生活することを楽しむ ★様々なものを通して、数や量、形などの違いに気付き、興味を持って集めたり、分けたりする ★絵本や物語に興味を持ち、イメージを広げたり、興味を持った文字を探し読んでみようとする	★集団でルールのある遊びを楽しみ、トラブルが起きても友達同士で解決しようとする ★会話を通して、友達といる楽しさを感じるようになり、つながりを深める ★自分の思いや考えを言葉で相手に伝えようとする ★言葉遊びや伝承遊びを通して、様々な言葉に触れていく ★音楽に親しみ、みんなと一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたりしてリズム遊びを楽しむ ★感じたこと、考えたことを絵や製作で表現する
■環境構成 ☆援助	■園児たちの好きな遊びを楽しめるよう、色々な玩具を準備する ☆ルールを守ることの大切さを知らせていく ☆戸外や園庭で伸び伸び楽しく遊べるよう、約束ごとを伝え、保育者と一緒に遊ぶ	■プールの衛生管理を行っていく ■体調を把握し、十分な水分補給や室温に留意する ☆冒険心を大切にし、新しい遊びやプールでの活動への不安を取り除いていくなどして、いきいきとした活動が展開できるようにする	■園児たちが身の回りのことを自ら気付き、進んで行えるよう、用具などを使いやすい場所に置く ■気温差に注意しながら、快適に過ごせるようにする ☆一人一人の思いやイメージを受け止め、共感し、楽しみながら表現出来るようにする	■遊びや生活の中で、5歳児と関わり、交流できる場を作っていく ■冬期の寒さに負けず、雪遊びや氷作りなどが出来るように園庭を整えておく ☆目標に向かって取り組む楽しさを感じ、園児たちの意欲が高まるような言葉がけやかかわりを持てるようにする
保護者支援(地域・子育て支援)	● 家庭や園の様子を伝え合いながら保護者の不安を和らげ、ともに成長を見守っていけるようにする	● 家庭で毎日健康カードに体温を記入してもらい、体調の変化を確認したり、プール遊びの有無を決めたりする	● 運動会やお遊戯会に至るまでの過程の大切さを伝え、様々な活動を通して満足感、達成感を味わうことが出来るよう、共通理解を深める	● 園児の成長を伝え、保護者が子育てに自信と喜びを持って、安心して進級を迎えられるようにしていく

梅賀山保育園　5歳児　年間指導計画(2024, 4～2024, 3)

年間目標	● 相手の気持ちを考え、認め合いながら遊ぶ中で一つの目標に向かって力を合わせることにより、達成感や充実感を持つ ● 身の回りの事象にふれ、ものの性質や数量・文字などに対する感覚を豊かにする ● 集団生活の中で必要な基本的生活習慣や自主性・協調性を身に付ける　※ 益田市版保幼こ小接続カリキュラムと合わせ、総合的な保育連携をしていく

期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)
園児の姿	●年長組になった喜びを感じ、これからの生活に期待を膨らませる ●身近な自然の変化に関心を持ち、見たり触れたりする ●異年齢児の世話をしようとする	●様々な活動の中で自分の思いを伝えようとするが、思いの違いからぶつかり合いが起きる ●活発に体を動かし、色々な遊びを楽しむ ●文字や数に興味を持ち、遊びや生活の中で使う	●様々な課題に友達と協力し合って挑戦する ●活動の中で気付いたことについて、考えたり調べようとする ●友達に憧れを持ったり、近づくために頑張ろうとしたりする	●自信を持って充実した生活をする反面、就学に対して不安を感じる園児もいる ●友達との話し合いや協力で、相手を認めながら遊ぶようになる
ねらい	●年長組になった喜びと自覚を持ち、見通しを持って生活する ●新しい友達や気の合う友達と遊びを通して関わりを深める ●進んで異年齢児との関わりを持つ	●活動と休息のバランスが分かり、快適に生活出来る ●友達と互いの意見を伝えたり話を聞いたりして、仲間とのつながりを深め、一緒に遊ぶ楽しさを知る	●友達と同じ目的を持って活動し、協力することで達成感や充実感を味わう ●生活に必要な態度を身に付けるとともに、その意味を理解して自発的に行動する	●生活や遊びを通して、思いやりの気持ちを持って異年齢児との関わりを持つ ●大きくなったことに自信を持ち、就学への期待を膨らませ、意欲的に活動する
■養護(生命の保持・情緒の安定)	■身体測定や健康診断を通して、自分の体に興味を持てるようにする ■一人一人の気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにする ■進んで新しい友達と関わったり異年齢児の世話を行おうとする	■夏の生活を快適に送れるよう、水分補給や休息が適宜出来るようにしておく ■一人一人の気付きや感動に共感し、体験を深めたり思考が広がる手助けをしたりする ■自己の気持ちや考えを表現し、認めてもらう喜びを味わえるようにする ■開放的な遊びを安全に出来るよう、環境を整える	■病気の予防に関心を持ち、その意味を知ることで自ら衛生的な生活が出来るようにする ■自発性を発揮し、主体的な活動を通して出来ることに対する自信を持てるようにする ■友だちと一つのことに取り組む楽しさを伝えたり、頑張っていることを認めたりする中で、諦めずに挑戦する大切さを伝える	■園児自身が危険を予測して行動出来るように、日常的に安全指導に取り組む ■自分に自信を持ち、主体的に行動できるようにする ■文字や数などを取り入れた遊びを充分に楽しみ興味や関心を深める
★教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)	★健康、安全の決まりを知り、必要な生活習慣を進んで行う ★野菜や花を栽培し、育てる楽しさや大変さを味わい、命の大切さを知る ★保育者や友達の話をよく聞き、内容を理解して行動する ★一日の流れが分かり、当番や自分の役割を進んでする	★日常の中で意見や思いの違いを経験し、友達の気持ちを知ろうとする ★遊びを通して、物の性質や特徴に興味を持ったり発見したりする ★様々な機会や場所で話したり聞いたりして、適切な言葉を使えるようになる ★簡単なリズムパターンを聞いて、リズムの構成を知り表現する	★身近な自然の美しさを感じたり、自然物を使って様々な遊びを楽しむ ★絵本や物語に親しむことで想像力を豊かにするとともに、様々な活動を通して体や言語で自分の思いを表現しようとする ★様々な活動の中で、興味を持って自分なりに試したりしながら工夫して遊ぶ ★自分の将来の夢について真剣に考える	★自分を主張したり相手も認めながら協力し合ったりして遊ぶ ★公共施設をマナーを守って利用することで社会性を身に付ける ★身近な文字に関心を深め、読み書きする楽しさを味わう ★寒さに負けず、体を動かし運動遊びを楽しむ ★就学に向けて、規則正しい生活リズムを身に付ける
■環境構成　☆援助	■当番表を作り、園児が自分から当番や役割を行えるようにする ■季節の花や野菜を植える ☆一緒に生活や遊びの場を考えたり作ったりする過程を通して、年長組になった実感を持てるようにする ☆小さい子の手助けをしたり一緒に遊んだりする姿を見守りながら、場面に応じて仲立ちをする	■時計を見て行動出来るよう、時間の目安を示しておく ■夕涼み会の準備等を異年齢児で行う機会を作る ☆個々の健康状態、発達状態を把握し、適宜必要な対応が出来るようにする ☆園児同士のやり取りで生まれる発想を尊重しながら、必要に応じて保育者も一緒に考えたり提案する	■一人一人の興味や関心・好奇心に寄り添った環境を整えていく ■運動会や発表会を通してみんなで目標を達成する経験が出来るようにする ☆相手の気持ちを考えたり思いを知ることが出来るよう、話し合いや協力して活動する機会を持つ ☆友達同士で励ましあい、認め合えるよう見守る	■文字や数、生活に必要な物を使って遊べる環境を準備しておく ■小学校との交流を通して、就学への期待を膨らませる ☆安心して就学を迎えられるような言葉をかける ☆友達同士で意見を出し話し合えるよう、十分な空間と時間を確保し必要があれば保育者が言葉をつないだりしながら見守る
●小学校への接続	●5歳児になり、役に立ちたい気持ちを持ち、園の役割や当番活動をすすんで行う ●小学校との交流会で、ペアになった小学生に親しみを持つ ●活動の合間に、トイレを自主的に済ませるようにする	●ゲームや遊びの中で数を数えたり、文字に触れたり、数や文字に興味を持って遊びに使うことを楽しむ ●自分の保育室や持ち物などの整理整頓をして、拭き掃除に慣れる ●汗を拭く、衣服の調節、手洗い、うがいなどを、自分で気付いて行う	●運動会やお遊戯会を自分たちで考えて、進めていく気持ちを持つ ●ルールの必要性や危険なことについて理解し、意識して行動する ●ハンカチ、ティッシュを自分で管理する	●小学校の授業に参加し、45分間の教科学習をイメージする ●給食は小学校の時間を意識して食べる ●通学路の安全を確認し、交通ルールを守って行動する ●時間を意識して生活に見通しを持ち、状況に応じた行動をする